

超カンタン 型を使った土鍋の作り方 2～3人用



土鍋は粘土も釉薬も難しいと思われがちですが、ペタライト入りの粘土が市販されるようになってから、手作り出来るようになりました。

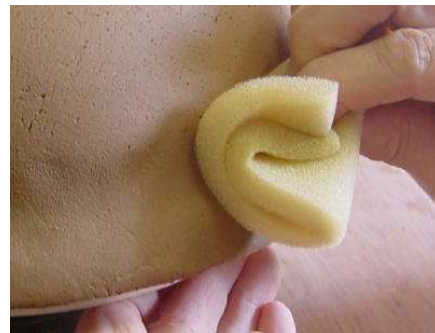


- ①粘土にペタライトを30%練り混ぜる。②ペタライト入粘土3kgをタタラ道具で、水にぬらし絞った布を上下に敷き18mmにのす。
※楽白か赤1



- ③上を10mm、下を8mmに切糸で切り離し切った面をヘラでならしておく。

- ④紙型で上を径28cm、下を径23,5cmで切る。※針は垂直に



- ⑤型に片栗粉をはたき28cmを石膏型にのせ、指の痕がつかないようにスポンジで静かになじませる。

- ⑥スポンジ枕をかぶせる



- ⑦上下を返し、石膏型をはずして本体ができる。

- ⑧23,5cmで同様に蓋を作り本体との寸法を合わせる。



⑨半乾燥にし、削り仕上げ、取っ手をつける。※蓋と本体の間にクラフト紙を挟むと便利。



⑩蒸気抜きの穴を忘れずに。



素焼後絵付け土鍋用の釉を掛け、1180℃で焼成。

耐熱陶器の原理は耐熱ガラス鍋と同じで、熱の伸び縮みを押さえた粘土で出来ています。鍋で言うと、火に掛けると内と外に温度差が出来ます。陶器は温度で収縮しますから、収縮に差が出来てしまい固い陶器にヒビが入る。

それでペタライトを入れることで500℃までの収縮が少なくなり割れにくくしています。